

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	比較歴史学特論（後期）	
科目基礎情報							
科目番号	0105			科目区分	一般 / 選択		
授業形態				単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学科（機械創造システムコース）			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	担当者が授業時に必要資料を配布します。資料を整理できるよう、A4サイズのファイルを準備してください。 1・2年時に用いた地理・歴史の教材があると、事前事後学習に役立ちます。						
担当教員	海上 尚美						
到達目標							
1）日本の移民史の概略を理解し、その知識を活用しながら現代の移民をめぐる問題について説明できる。 2）移民についての学習を通じて、違う価値観や背景を持つ人の立場を想像し、その立場からの考えを述べることができる。 3）世界の抱える課題について理解し、史資料の読み解きやディスカッションを通じて自分の意見を形成し述べることができる。同様に他者の意見を傾聴できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本の移民史の概略を理解し、その知識に基づいて、現代の移民をめぐる問題について具体的な事例を挙げて説明できる。			日本の移民史の概略を理解し、その知識に基づいて、現代の移民をめぐる問題について説明できる。		日本の移民史の概略を理解が不十分であり、現代の移民をめぐる問題について説明できない。	
評価項目2	移民についての学習を通じて、違う価値観や背景を持つ人の立場を想像し、その立場からの考えを具体的に述べることができる。			移民についての学習を通じて、違う価値観や背景を持つ人の立場を想像し、その立場からの考えを述べることができる。		移民についての学習を通じて、違う価値観や背景を持つ人の立場を想像ができず、その立場からの考えを述べるができない。	
評価項目3	世界の抱える課題について理解し、史資料の読み解きやディスカッションで他者の意見を傾聴しながら自分の意見を形成し、述べるができる。			世界の抱える課題について理解し、史資料の読み解きやディスカッションを通じて自分の意見を形成し述べることができる。		世界の抱える課題について理解し、史資料の読み解きやディスカッションを通じて自分の意見を形成し述べるができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	人が移住する背景にあるさまざまな要因を学んだうえで、ハワイ・アメリカ・ブラジルを例に日本人移民の歴史を学びます。 100年前の日本人の姿を振り返って得たものから、現代の移民についても考えます。						
授業の進め方・方法	移民をテーマに、講義・史資料の読み解きから考えます。ペア・グループでのワークや体験的活動も適宜行います。						
注意点	※博物館資料の貸出スケジュールなどにより、内容が前後することがあります。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス～移民の歴史を学ぶ意味		内容・評価・ルールなど授業の進め方を把握する。受講者の自己紹介や既習知識について確認し、グループワークを行う人間関係がつかれる。		
		2週	人の移住の背景		人が生まれ育った土地を離れて移住する主な理由と歴史上の人の大規模な移動について説明できる。		
		3週	福岡県は「移民県」		福岡県からの移民について、いつ・どこに移民したのかを説明できる。		
		4週	ハワイへの移民①		日本からのハワイ移民について、歴史と生活を説明できる。		
		5週	ハワイへの移民②		日本からのハワイ移民について、歴史と生活を説明できる。		
		6週	アメリカ合衆国への移民①		日本からのアメリカ移民について、歴史と生活を説明できる。		
		7週	アメリカ合衆国への移民②		日本からのアメリカ移民について、歴史と生活を説明できる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	ブラジルへの移民①		日本からのブラジル移民について、歴史と生活を説明できる。		
		10週	ブラジルへの移民②		日本からのブラジル移民について、歴史と生活を説明できる。		
		11週	移民の視点から考える①		史資料の観察・読解からの理解に基づいて、移民の生活・個人史を具体的に説明できる。		
		12週	移民の視点から考える②		史資料の観察・読解からの理解に基づいて、移民の生活・個人史を具体的に説明できる。		
		13週	プレゼンテーション①		ハワイ・アメリカ・ブラジル移民の立場を設定して、そのライフヒストリーを歴史的事実に基づいて説明できる。		
		14週	プレゼンテーション②		ハワイ・アメリカ・ブラジル移民の立場を設定して、そのライフヒストリーを歴史的事実に基づいて説明できる。		
		15週	ふりかえり～日本人移民の歴史から現代を見る		現代の移民に関わる事象を、歴史的観点に基づいて説明できる。		

		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	後6,後8,後10,後13
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後3,後4,後5,後9,後12
評価割合						
		試験	演習・レポート		合計	
総合評価割合		40	60	0	100	
基礎的能力		40	60	0	100	